



モデル校25校がスタート！

去る8月30日、学校安全ネットワーク推進モデル校の委嘱式が、教育研究所で執り行われました。モデル校25校の様々な取り組みが、2学期からいよいよ実施されることになりました。

モデル校の役割は、さいたま市が目指す学校防犯体制である、多くの人目でも子どもたちを見守るとした「学校安全ネットワーク」を自校において整備すること。具体的には、学校・家庭・地域・行政の連携を強化し、防犯ボランティア等による見守り活動を拡充することです。

また、防犯ベストの着用促進や犯罪抑止効果の高い看板やプレートの掲出などを始めとする、防犯活動の見える化を推し進め、効果的な実践を積みあげること。

さらに、これら実践により培ったノウハウを、モデル校連絡協議会で取りまとめ、実践報告会等の場を通じ、モデル校以外の学校へ伝え広めることです。

今後、報告される取り組み実例は、逐次、本紙「**“Hello Safety”**モデル校訪問」欄に掲載してまいります。

学校安全ネットワーク推進モデル校一覧

尾間木小、大谷場小、文蔵小、沼影小、道祖土小、中尾小、大牧小、日進小、大砂土東小、見沼小、指扇小、七里小、大宮西小、栄小、島小、海老沼小、下落合小、与野西北小、鈴谷小、岩槻小、柏崎小、河合小、東岩槻小、城北小、上里小

2学期に「モデル校」を募集したように、3学期は「推進校」を募集します。そして、来年4月からは、全校が、学校警備員半日体制を含む「学校安全ネットワーク」推進体制に入ります。各校準備をよろしくお願いいたします。

“Hello Safety” 指扇小学校

本校は、夏季休業中に、第1回「指扇小学校安全ネットワーク推進協議会」を立ち上げ、各団体と情報交換を行うと共に、安全対策等を検討し実践しています。

具体的には、まず、校庭に面した地域交流室を、防犯ボランティアの詰め所として整備しました。この部屋は、チャレンジスクールとしても利用している部屋で、まさしく地域の拠点でもあります。専用電話も引いてあります。

この詰め所には、防犯ボランティアだけでなく、埼玉県から表彰を受けた上郷自治会防犯パトロール隊や、大宮西警察署の警官も巡回に立ち寄っていただいています。子どもたちや、保護者の方々にとって、たいへん心強いことです。

他には、家庭訪問の際に職員の車に、「防犯パトロール実施中」のマグネットシートを付けたり、大きな看板を設置するなど、防犯活動をアピールしています。

また、PTAは、保護者の輪番制による登下校指導を実施するほか、PTA会長を中心に、児童の安心安全情報などを携帯メールで共有するため、らくらく連絡網を導入し、活用しています。

本校では、この様にPTAや地域の方々と連携して、「学校安全ネットワーク」を構築し、さらなる拡充を図っています。



指扇小の門扉には、ひときわ目立つ大看板、防犯カメラ脇には、「防犯カメラ作動中！」の看板をつけました。

らくらく連絡網：全国的に実績ある無料携帯連絡網ツール
他に、有料・無料数々の連絡網ツールがウェブで検索可能

防犯ワンポイントアドバイス



埼玉県警察本部によると、今年の、子どもに対する声かけ事案(重大な犯罪の前兆として捉える事案)は、前年の1~7月期比較で大幅な増加(18歳以下66%、小学生以下51%増)となりました。傾向は、小中学生が対象人数の約77%、女子の事案が約81%、午後2時30分から6時の下校時間帯に全体の56%の事案が集中、下校帰宅途中の事案が約60%、道路上における事案が約82%、単独行動時の事案が約75%とのこと。やはり心配は、下校時間以降の通学路です。「大声」「防犯ブザー」「110番の家」に救われた例が多いとの報告から、これら3点を繰り返し指導したり、環境を整備することが重要です。また、自主的に地域を見回る、自主防犯活動団体が市内に700以上あります。各学校が、これら団体と積極的に連携することで、地域の見守りによる大きな安心を得ることができます。